

# 時を旅する 愛知の東海道

まちあるきマップ



時を旅する



「時を旅する  
愛知の街道」  
ガイドブック  
も併せてご覧ください。



# 御油宿と赤坂宿

浮世絵や弥次喜多道中の舞台を満喫  
あかさか

豊川市  
松並木、  
旅籠をめぐり  
江戸の旅人気分

名鉄国府駅より西へ進むと東海道の突き当たる。東海道と本坂道の分岐点であった御油の追分、御油橋を渡り旧御油宿へ。高札場跡を右に折れ直進すると丁字路。東海道はこれを左折するが先に「御油の松並木資料館」に立ち寄り、東海道の松並木が現れる。その先が旧赤坂宿。芭蕉句碑の関川神社、「大橋屋」の建物を訪ねよう。



赤坂宿 / 豊川市大橋屋 (旧旅籠屋)

6 赤坂宿場資料室  
(豊川市音羽生涯学習会館内)  
赤坂宿の歴史を紹介。生涯学習会館内に設置。

5 豊川市大橋屋 (旧旅籠屋)  
芭蕉が宿泊し、句を詠んだといわれる。

4 関川神社  
樹齢800年の楠の大木と、芭蕉句碑がある。

information  
豊川市観光協会  
0533-89-2206  
豊川市観光  
3-133  
プリア5F  
【豊川市観光ボランティアガイド (豊川市観光案内所内)】  
FAX 0533-89-2412  
(豊川市観光案内所)  
(電話受付はなし)  
※要予約・無料

所要時間 約1時間23分 距離 約4.2km

- 6 赤坂宿場資料室 (豊川市音羽生涯学習会館内) 徒歩22分
- 5 豊川市大橋屋 (旧旅籠屋) 徒歩2分
- 4 関川神社 徒歩6分
- 3 御油の松並木 徒歩11分
- 2 御油の松並木資料館 徒歩17分
- 1 御油の追分と秋葉山常夜燈 徒歩15分



3 御油の松並木  
幕府の交通政策として植樹された、約300本の松の並木が並ぶ。

2 御油の松並木資料館  
御油宿の町並みの復元模型などの資料が揃う。

1 御油の追分と秋葉山常夜燈  
本坂道との分岐点で、常夜燈と道標がある。



街道資料館を  
たずねる

江戸時代の赤坂宿の資料を展示  
赤坂宿場資料室 (豊川市音羽生涯学習会館内)

開 9:00~17:00 (見学希望の方は1階事務室にて申込) 無料  
休 月曜日 (祝日の場合は開館)、年末年始 (12/29~1/3)  
住 千441-0202 豊川市赤坂町西裏47-1  
料 無料 豊川市音羽生涯学習会館  
0533-80-1357

江戸時代の貴重な旅籠建物を間近で見学  
豊川市大橋屋 (旧旅籠屋)

開 10:00~16:00 無料  
休 月曜日 (祝日の場合は開館)、年末年始 (12/29~1/3)  
住 千441-0202 豊川市赤坂町紅里127-1  
料 無料 豊川市大橋屋 (旧旅籠屋)  
0533-56-2677

御油宿、松並木の歴史と広重の版画  
御油の松並木資料館

開 10:00~16:00 (12:30~13:30は休館) 無料  
休 月曜日 (祝日の場合は開館 ※翌日も開館)、年末年始 (12/29~1/3)  
住 千441-0299 豊川市御油町美世陽183  
料 無料 豊川市御油町美世陽183  
0533-88-5120





吉田宿 / 吉田城鉄櫓

豊橋駅前から路面電車に乗り東八町電停で下車。歩道橋を西へ渡る。東海道は吉田城の東惣門跡レプリカを右手に南へ進み、すぐに右へ折れ、さらに左へ折れて国道1号線と平行に西へ進む。鍛冶町、呉服町等の町名を頼りに吉田宿をしのぶ。途中、豊橋公園となっている吉田城本丸へ寄り道。再び東海道に戻り本陣跡、脇本陣跡、旧豊橋跡に向かう。

**豊橋市**  
街中で宿場町、城下町の面影をたどる

**東海道**  
吉田宿

城下町、湊町としてもにぎわった宿場町



二川宿 / 豊橋市二川宿本陣資料館

JR二川駅から豊鉄バスに乗り二川東町バス停で下車。南に100m歩くと東海道。東海道を西へ進み旧二川宿に向かう。芭蕉句碑のある妙泉寺、商家「駒屋」、本陣と旅籠屋「清明屋」、さらに本陣資料館で江戸の旅模様を学ぶ。町並み散策の後は旅人たちも眺めた観音像の立つ岩屋山へ足をのびしてみよう。

**豊橋市**  
調和のとれた町並みに宿場町風情を味わう

**東海道**  
二川宿

現存する本陣が、江戸の旅を伝える

**8 旧豊橋跡の碑**

江戸時代には木製の太橋(吉田大橋)が架けられていた。明治期以降に上流に新たな吉田大橋が架けられた後、豊橋(とよはし)に名称変更された。

**6 西惣門跡**

西惣門跡を伝えるミニチュア。この門を出ると宿外れとなった。

**4 吉田城鉄櫓**

城全体の敷地は、名古屋城より広く全国有数の巨城だった。

**7 湊町公園・芭蕉の宿泊宿跡**

貞享4年(1687)、芭蕉が吉田宿に泊まった際の宿跡。

**3 曲尺手門石碑**

史跡に指定されている曲尺手門の跡。

**1 秋葉山常夜燈**

元は、文化2年(1805)に建てられた秋葉山常夜燈。平成13年(2001)復元。



**information (二川宿、吉田宿共通)**  
 豊橋観光コンベンション協会 ☎0532-54-1484  
 豊橋市花田町字石塚42-1  
 【豊橋観光ボランティアガイドの会】☎0532-54-1484  
 ※要予約・無料 実費(交通費・食事代・入場料等)負担

- 所要時間 約1時間26分
- 距離 約4.7km
- 1 秋葉山常夜燈 徒歩1分
- 2 東惣門跡 徒歩12分
- 3 曲尺手門石碑 徒歩14分
- 4 吉田城鉄櫓 徒歩10分
- 5 本陣・脇本陣跡 徒歩10分
- 6 西惣門跡 徒歩7分
- 7 湊町公園・芭蕉の宿泊宿跡 徒歩8分
- 8 旧豊橋跡の碑 徒歩22分

**6 岩屋観音**

聖観音像は、街道の風物詩として道中記などにも取り上げられた。

**4 大岩神明宮**

境内には寛延4年(1751)の灯笼や秋葉山常夜燈がある。

**2 商家「駒屋」**

二川宿で商家を営むかたわら、問屋役や名主を務めた田村家の遺構。主屋、離れ座敷、土蔵などが一般公開。



**1 妙泉寺**

芭蕉の「阿ちさるや 藪を小庭の別座敷」が刻まれた築陽花塚がある。

**5 渥美郡奥郡道標**

田原街道との分岐として明治33年(1900)に建てられた。

東海道で唯一の大名と庶民の宿を見学 豊橋市二川宿本陣資料館

9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 一般400円 小・中・高校生100円  
 月曜日(ただし、この日が祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/1)  
 〒441-3155 豊橋市二川町字中町65  
 無料(100台) 豊橋市二川宿本陣資料館 ☎0532-41-8580

街道資料館をたずねる

- 所要時間 約1時間5分
- 距離 約3.5km
- 1 妙泉寺 徒歩3分
- 2 商家「駒屋」 徒歩8分
- 3 豊橋市二川宿本陣資料館(二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」) 徒歩10分
- 4 大岩神明宮 徒歩17分
- 5 渥美郡奥郡道標 徒歩17分
- 6 岩屋観音 徒歩5分

**3 豊橋市二川宿本陣資料館**  
(二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」、資料館)

二川宿本陣と旅籠屋「清明屋」が見学できる。東海道、宿場、本陣について学べる。